

令和2年度以降に実施すべきと検討部会で協議された内容

商業・観光分野

地域資源のブランド化から販売までの支援を強化し、域外から稼ぐ力を強化する。同時に、さまざまな担い手が新商品や新事業の創出に取り組みやすいよう支援を行い、経済活性化の動きを活発化する。また恵那市の経済を担ってきた事業者がなくならないよう事業承継支援を強化する。

基本施策	事業の方向性	概要
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域資源の活用とブランド化 ■ 知恵とネットワークを生かしたものづくり ■ 市場開拓・販路拡大 	新 地域商社事業 (DMO)	地域資源をブランド化し、生産・加工から販売まで一貫してプロデュースすることにより地域内外に販売する組織をつくり恵那市版DMOを推進する。
	新 ビジネスプラン発掘支援	市民によるビジネスプランコンテストの開催を支援し、地域資源を活用した新商品や新事業の創出を促進する。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 集客・交流産業の振興 ■ 集客できる拠点の整備 ■ 魅力発信 	新 地域商社事業 (DMO) (再掲)	(省略)
	新 ビジネスプラン発掘支援 (再掲)	(省略)
	新 スポーツツーリズム推進	WRC、東京オリ・パラの事前合宿開催によるモータースポーツやスポーツアクティビティへの関心の高まりを契機とし、スポーツを活用した体験コンテンツの創出など、本市の特徴を活かし、個人旅行者のニーズを捉えた着地型観光商品の開発やプロモーションを展開する。
	継 「麒麟がくる」関連事業	観光協会、経済団体等と設立した「恵那市大河ドラマ『麒麟がくる』実行委員会」を中心に、大河ドラマ館を活用した誘客促進のほか、光秀まつりの拡充開催などイベントの開催、旅行商品の造成支援など、ドラマを活用した観光プロモーションの展開により、山城や武将をテーマとした観光誘客を推進する。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営支援 ■ 経営基盤の強化 	充 事業承継支援事業	事業承継セミナーや企業訪問により事業承継の重要性の理解促進を図るとともに、事業承継を検討する事業者が必要とする専門的支援を実施することにより事業継続を図る。
	新 商店街活性化支援	商店街などの若手経営者による勉強会や交流する機会を持つことにより、商店街活性化のための新たな仕組みを考え、事業実施を支援する。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 市民が事業者を知る機会の創出 	新 中学生による地元企業支援	中学生が商店街の課題を考え、解決のための取り組みを企画・実施することにより地元企業を元気にするとともに、郷土愛を醸成する。

新 令和2年度以降に実施すべきと協議されたもの

充 既存事業の内容を充実させるもの

継 既存事業を継続実施するもの

工業分野

学生などの若者を中心に、優れた製品や技術を持つ地域企業を知る機会を増やすとともに、女性や高齢者の活躍を支援をすることにより、誰もがいつまでも働くことができる環境づくりを進める。また、競争力強化のため、業務改善やIoT導入による生産性向上、成長産業分野との連携による新たな価値の創出を図る。

基本施策	事業の方向性	概要
<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材の確保 ■ 市民が事業者を知る機会の創出 ■ 潜在的人材の発掘 ■ 人材育成 	充 成果を上げる就職面接会等のシステム構築事業	学生、女性、シニアなどターゲットごとに年間を通じた戦略的な事業展開を行い、人材確保・育成・定着を促進する。
	充 恵那くらしビジネスサポートセンター事業（経営・就職・移住定住支援）	専門家を活用した個別の経営支援を実施し、業務改善や女性・高齢者が働きやすい職場づくりなどを支援する。
	充 企業の採用力向上事業	就職活動動向、採用活動ノウハウ、自社の魅力発掘・発信方法の習得を支援する。
	充 女性の活躍推進事業	就職・再就職など社会で活躍を希望する女性を対象とした就職支援セミナーを開催するとともに人手不足を解消したい企業とのマッチング支援を実施する。
	充 シニアワークステーション事業	働きたいシニア人材の掘り起こしと人手不足を解消したい企業とのマッチング支援を実施する。
	新 人材の定着支援	新入社員や若手社員が定着するよう社会人として育成する研修等を実施する。また専門家を活用し、女性や高齢者が働きやすい職場づくりを支援する。
	新 産業人材育成支援	チームマネジメントなどを学ぶ研修の実施によりリーダーを育成する。また「人」と「組織」を動かす能力の向上を図る研修を実施し管理者を育成する。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営支援 ■ 経営基盤の強化 	充 事業承継支援事業	事業承継セミナーや企業訪問により事業承継の重要性の理解促進を図るとともに、事業承継を検討する事業者が必要とする専門的支援を実施することにより事業継続を図る。
	充 IoT推進ラボ事業	ソフトピアジャパンと連携し、改善活動からIoTの導入により生産性向上を行った成功事例をつくり、IoT導入のメリットを示すことによりIoT導入を促進する。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業立地の促進 	継 企業誘致促進事業	市内企業の事業継続や拡大を支援するとともに、商談や交流を図る展示会へ積極的に参加し、市内企業と関連性のあるロボットや医療など成長産業分野企業との接点をつくる。これにより効率的に企業誘致を進める。

農業分野

たべとるマルシェの継続開催により恵那野菜のファンを増やし、地産地消を推進するとともに、恵那市に適した付加価値の高い作物の生産だけでなく、6次産業化の推進に向け、引き続き検討する。

また、農業従事者の高齢化、担い手不足の対策として、作業の省力化、効率化を図るため、スマート農業の推進を図る。人・農地プランの実質化を図り、地域主体で耕作放棄地解消を進める。

たべるプロジェクトの推進のため、今年度新たに立ち上げた「恵那市たべる推進協議会」において、農業、健康、食育、観光、産業、文化（郷土料理）など、多岐に渡る分野の視点から事業の具現化を図る。

基本施策	事業の方向性	概要
■ 地域資源の活用とブランド化 ■ 知恵とネットワークを生かしたものづくり ■ 市場開拓・販路拡大	継 水稲 + 1 (ONE) 推進事業	各地区の実情も含め「マーケットイン型」の農業を検討。売れる作物をつくることで、有効活用されていない農地がビジネスにつながるモデルを検討する。とりわけ冬期における作物を検討し、周年で稼ぐことのできるしくみづくりを調査、研究する。
	継 NEW FARMERS交流会 協議	マルシェの継続開催による恵那野菜のファンづくりを進め、恵那野菜のブランド化を目指すとともに、生産者やJA等を中心とした農産物販売拠点づくりを進める。地域商社と連携し、農産物の販売、流通の新たな仕組みづくりを行う。
	継 農福連携事業の構築	農家、福祉関係者双方から相談できるしくみづくりを構築（ワンストップ窓口の設置など）し、農家と福祉関係者とのマッチングを図る。合わせて、福祉事業所の農業参入を支援する。
	充 遊休農地の活用 推進事業	各地域の現状に合った農業振興を図るため、地域ごとに話し合う場を設け、担い手の農地集積への加速化及び遊休農地の利用促進を図る。（人・農地プランの実質化）また、遊休農地解消に向けた複合的な事業スキームを整理する。
	新 「たべる」プロジェクト	恵那市たべる推進協議会で「たべる」に関する事業の提案及び推進を図る。協議会では、農業、健康、食育、観光、産業、文化（郷土料理）など、多岐に渡る分野の視点から事業の具現化、6次産業化の推進を図る。
	充 食と農の交流会	たべるプロジェクトを推進するため、食と農がつながる場を創出し、生産者と料理人双方の地産地消に対する情報の共有と意識の醸成を図る。
	継 拠点となる農産物販売所の整備検討	J A、民間事業者等関係機関が参画し、整備に向けた検討を行う。地域商社と連携し、農産物の販売、流通の新たな仕組みづくりを行う。（再掲）
■ 経営支援 ■ 経営基盤の強化	継 農業者の経営改善事業	意欲ある農家を対象に、農家が経営者となるべく関連セミナーを開催することで、人材の育成を図る。（農業従事者の学ぶ機会の創出と経営者としての意識の醸成）
	新 スマート農業の推進	生産性の向上と労働力の省力化を図るため、モデル地区によるスマート農業導入の実証実験を行う。効果が検証されている機械等について積極的に導入を支援する。
■ 企業立地の促進	充 農業の様々な主体との連携事業	日本食農連携機構との連携事業による新たなビジネスモデルの確立。（全国の事例を参考に恵那市に取り入れ可能な事例を紹介）企業参入型農業に対する支援を検討する。

林業分野

市内産木材の利用や市内建築関連業者の利用など木材に関わる地産地消を促進するための仕組みを構築し、林業関連産業を持続するものにする。また、恵那市の森林の魅力発信を強化することにより幅広い人材を呼び込み就業や起業へつなげる環境を整備し、デザインやアートなど子どもが憧れる職業を市内に増やす。

基本施策	事業の方向性	概要
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域資源の活用とブランド化 ■ 知恵とネットワークを生かしたものづくり ■ 市場開拓・販路拡大 	充 オリジナル木工製品開発促進事業	優れた技術とアイデアによる木工作品を展示し木製品の魅力をPRする。 外部講師を招き、オリジナル木製品の開発を検討する。
	新 地域全体での木材活用推進	地域全体で木材を活用したエコ住宅建築の促進を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 魅力発信 	継 えなの森林魅力発信事業	林業に関心がある人を次のステップにつなげるため、山仕事手習い塾や現場でのインターンシップを実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 経営支援 	継 森林環境譲与税を活用した森林整備	森林所有者自らが森林の管理が出来ない場合に市が森林の集積を実施し、森林の経営管理の委託を受け森林整備を行う。 人材育成、担い手確保のための森林教育を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 人材の確保 ■ 潜在的な人材の発掘 ■ 人材育成 	継 えなの森林魅力発信事業（再掲）	林業に関心がある人を次のステップにつなげるため、山仕事手習い塾や現場でのインターンシップを実施する。
	新 地域全体での木材活用推進（再掲）	（省略）